

Global FLP



グローバル社会での活躍を目指す外国語で学ぶ場

現代は、国を超えて、人やモノ、情報等の交流が活発化された「グローバル社会」です。グローバルFLPプログラムは「グローバル社会」での活躍を目指す学生に、外国語による実践的な学修と、海外インターンシップによる実務体験を取り入れた国際化教育の機会を、学部生を対象に提供することを目的としています。

本学の伝統である実学教育を通じて修得した専門知識・技能を「グローバル社会」で発揮することができる「グローバル・プロフェッショナル」の育成を目指す、全学的教育プログラムです。

■プログラムの構成

すべての科目は外国語で行われます。「座学」として、グローバルFLPプログラムの必修科目である「グローバル・テュートリアル（2単位）」と、「指定講義科目」から6単位以上の計8単位以上を修得します。「グローバル・テュートリアル」を履修するところからプログラムはスタートします。さらに、「体験型学修」として、「単位付き留学」や「海外インターンシップ」、「グローバルアクティブラーニング」等の科目から1単位以上を修得することで修了要件を満たすことができます。

学びの形式	科 目 名 称		配当年次	修了要件
座 学	グローバル・テュートリアル（必修科目）		1年次～	2単位
	指定講義科目	グローバル総合講座 ※1	2年次～	6単位
		グローバル集中講義 ※1		
		グローバル遠隔ラーニング ※1 ※2		
	プログラムが指定する学部開講の講義科目		科目設置学部指定	
体験型学修	プログラムが指定する学部開講の単位付き留学／海外インターンシップ科目		科目設置学部指定	1単位
	専門インターンシップ ※1		1年次～	
	グローバルアクティブラーニング ※1 ※2		2年次～	

※1 グローバル・テュートリアルを単位修得済みまたは同年度に履修することが履修の条件です。

※2 グローバル遠隔ラーニングとグローバルアクティブラーニングはセット履修です。

■始める時期を自由に選択

プログラムを開始するのは、自分の学修状況に合わせていつからでも可能です。1年生から始めてもいいですし、長期留学から帰国後に始めることや、4年生になってから登録することもできます。

■卒業単位として認定されるグローバルFLPの修得単位

プログラムで修得した座学と体験型学習の単位は、原則として全て所属学部の単位（卒業単位として認定）になるので、所属学部の学修と両立して無理なく知識を深めることができます。

■科目紹介

グローバルFLPプログラムとして設置している6科目を紹介します。

グローバル・チュートリアル	チュートリアルとは、チューター（教員）の助言のもとで小人数グループ討論を経て学修を深めていく教育のことをいいます。 学部学生（日本人学生・学部留学生）と選科生が、外国語でアクティブに参加しながらともに学べる小人数制の「グローバル・チュートリアル」に英語または中国語で参加することによって、国際的に活躍するための実践的素養を身に付けます。使用言語（英語または中国語）が異なるクラスが複数あり、それぞれ扱うテーマが違います。いずれか1つを選択します。 
グローバル総合講座	本科目では、世界と地域による不平等問題について学びます。毎回、各分野の専門家を招聘して授業を開講しています。扱うテーマは、ジェンダー、経済、開発、政治的およびその他の社会的不平等など、多岐に渡ります。
グローバル集中講義	本科目では、在米日系企業に対するHR（Human Resources）コンサルティング等の実務経験を持ち、現在もアメリカで自身が設立した会社の社長・シニアコンサルタントとして活躍する実務家が担当教員を務めます。 本科目の目的は日米のビジネス文化の違いを理解し、日本ではあまり教えられていないHRの基本的な知識を身につけることと、今後ジョブ型雇用が進んで行くとされる日本において、どの専門性やキャリアに進んで行きたいのかということ、を、よりイメージしやすくすることです。 履修者はHRを通して、日本とアメリカのビジネス文化の違いに触れ、SHRM（Society of Human Resources Management）が進める最新の知識を用いて、英語でHRの知識を習得する実践的な方法を学び、自身の将来のキャリアについて深く考える機会を得ることができます。 
グローバル アクティブラーニング	本科目は「グローバル遠隔ラーニング」とセットで履修します。 米国ボストンにあるブランダイス大学を訪れ、秋学期に実施するグローバル遠隔ラーニングにおけるペア（グループ）とテーマを決めます。8月初旬の事前授業の後、9月の前半に1週間ボストンに滞在してブランダイス大学日本語学科の授業に参加し、共同プロジェクトについて話し合います。 

グローバル遠隔ラーニング	本科目は「グローバルアクティブラーニング」とセットで履修します。 グローバルアクティブラーニングにおいて選択したペア（グループ）ワークにより、12月までに英語プレゼンにまとめていきます。この科目を通じて、自分の研究テーマと関連する情報を英語で表現できるようになることを目指します。 
専門インターンシップ	海外で2週間の就業経験を行います。物理的・文化的環境の異なる職場で働くために学ぶべき知識、身につけるべきスキル、海外で通用する仕事をするための姿勢（態度）を、自ら目標を設定しながら身につけます。 履修者は、グローバルFLPの履修者から選考により決定され、事前指導の後、現地での実習、そして帰国後に成果報告会を実施します。長期留学中に実施することも可能です。 なお、原則として、インターンシップの受け入れ先は、学修の一環として履修生自身が交渉して探します。 ■経験者からのメッセージ 2019年度参加学生：小野 萌奈さん（経済学部） 就業先：In One Mobile Projector Per Trainer (OMPT) NPO団体 私が専門インターンシップ科目を履修した理由は、海外でのインターンシップに魅力を感じたからです。なぜなら、自分の語学力を試すことができると同時に海外で働くことの具体的なイメージを持つことができると考えたからです。1年間の留学生活で培った語学力が社会でどの程度通用するのか、自分にどのような点が足りないのかを知る良い機会でした。また、実際に現地で働かれているの方のそばで業務をさせていただくことでより将来、海外で働きたいという気持ちが大きくなりました。グローバルに働きたいと考えている学生のみなさんには、ぜひこの機会を利用して海外でインターンシップをすることをおすすめします。 

■申し込み受付期間

【前期】4月上旬 【後期】9月中旬

※詳細はCplusまたはmanabaコース「グローバルFLP【履修生募集用】」で掲載いたします。全学連携教育機構WEBページも参照してください。

■応募に必要な語学条件

グローバルFLPプログラムへの応募に際しては、以下の語学条件のいずれかを満たしている必要があります。

【グローバル・テュートリアルの使用言語が英語の場合】

資格・検定試験種別	TOEIC (L&R) ※IP含む	TOEFL (ITP)	TOEFL (iBT)	IELTS	TEAP	TEAP CBT	GTEC ※CBTに 限る	実用英語 技能検定	ケンブリッジ 英語検定
1年次	550以上	470以上	52以上	5.0以上	270以上	500以上	1080以上	準1級 以上	B2 First (FCE), C1 Advanced (CAE), C2 Proficiency (CPE) のいずれかの合格
2年次以上	650以上	500以上	61以上	5.5以上	308以上	595以上	1189以上		

【グローバル・テュートリアルの使用言語が中国語の場合】

中国語検定3級、HSK4級以上（※母国語を中国語とする応募者については、英語の基準も満たすこと）

■履修時の注意

グローバルFLPプログラムで設置、指定する科目は、新規開講・休講・廃止することがあります。また本プログラムにて開講されている科目には定員があり、希望者人数によっては抽選または選考を行う場合があります。

なお、プログラム設置科目をはじめとするプログラム修了に必要な科目の多くは多摩キャンパスで開講しています。

■お問い合わせ

全学連携教育機構事務室（多摩キャンパス5号館ペデストリアンデッキ下）

E-mail: global-flp-grp@g.chuo-u.ac.jp TEL: 042-674-3663

WEB: https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/gp/collaborate/program/global_flp/

